

団体名	人とクマをつなぐ会		
団体の所在地	川西市	代表者名	木下裕美子

1. 事業名	近畿地方における人とクマが共に暮らせる地域づくりを支援する市民活動の設立
2. 実施期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
3. 主な実施場所	兵庫県の但馬地域など
4. 活動形態	団体立ち上げ 普及啓発活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>○普及教育活動のためのグッズづくり (随時) ツキノワグマに関する普及教育プログラムの企画と、そのために必要なグッズを作製した。参加者；人とクマをつなぐ会スタッフ</p> <p>○兵庫県立村岡高校 夏季講義「地域探求」 『ツキノワグマの生息状況と被害防止対策について』(H23. 8. 17) ツキノワグマの生態や現状についての講義の後、遭遇時の対応や発信機を使ったツキノワグマの野外調査の方法を体験した。参加者；村岡高校の生徒と教員 13名</p> <p>○氷ノ山『ツキノワグマ体験登山』(H23. 8. 27) ツキノワグマの痕跡や野生動植物を観察しながら、兵庫県におけるツキノワグマの主要な生息地である氷ノ山に登った。参加者；一般社会人 約20名</p> <p>○兵庫県立三木山森林公園『森の動物たち』(H24. 2. 25) 子供を対象としたペープサート『ふうちゃんと森の動物たち』を上演した後、ツキノワグマを含む野生動物の話しやスタンプカードづくりを行った。 参加者；親子連れ 約20名</p>
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>○普及教育活動のためのグッズづくり ツキノワグマに関する普及教育プログラムの企画と、そのために必要なグッズを作製することができた。</p> <p>○兵庫県立村岡高校 夏季講義「地域探求」 ツキノワグマの生息地域で暮らす高校生に、普段はあまり知ることのできないクマの暮らしや、被害対策について学んでいただいた。今年度は但馬地域の一校でしか実施できなかった。今後はさらに多くの学校などで、このような体験学習を実施していきたい。</p> <p>○氷ノ山『ツキノワグマ体験登山』 参加者から、普段とは違う視点で山を歩いて新鮮だった、いつもは見落としていたことに気付けた、などの感想をいただいた。今回は氷ノ山の主要な登山道を歩いたが、今後は安全面に配慮しつつも、より多くのツキノワグマの痕跡が見られる山深い場所なども歩いてもらいたい。</p> <p>○兵庫県立三木山森林公園『森の動物たち』 子供たちにツキノワグマをはじめとする野生動物に対して興味をもってもらえた。また、親御さんたちにも野生動物の暮らしや習性について学んでいただいた。成果物としてスタンプカードを持って帰ってもらえたので、思い出に残るイベントになったと思う。今回は室内でのワークショップだったが、今後は野外での観察会なども交えたプログラムも実施していきたい。</p>
7. 成果物	人とクマをつなぐ会活動紹介パネル、体験学習用ツキノワグマ着ぐるみ、人形劇『くまごろう物語』・人形・舞台・大道具、ツキノワグマ等身大写真、スタッフTシャツ、ツキノワグマ等野生動物足型セット、ツキノワグマスタンプセット、ペープサート『ふうちゃんと森の動物たち』・大道具、キャラクターパネル

8. 活動写真・説明



ツキノワグマの生息地
氷ノ山の山頂にて



ツキノワグマの着ぐるみを使った体験学習



子供を対象とした野生動物の普及教育活動